

# 令和5年度 第4回 諏訪区地域協議会 次 第

日時：令和5年8月31日(木) 午後7時から  
会場：諏訪地区公民館 集会室

延べ1時間

## 1 開 会

【5分】

## 2 議 題

### (1) 協議事項

○ 地域活性化の方向性について

【30分】

### (2) 自主的審議事項

○ 二貫寺の森の活用について

【20分】

### (3) その他

## 3 そ の 他

### (1) 次回開催日の確認

【5分】

- 日時 … 令和5年9月28日(木) 午後7時から
- 会場 … 諏訪地区公民館 集会室
- 内容 …

### (2) その他

## 4 閉 会

## アンケートの集計結果を踏まえた「地域活性化の方向性」の作成について

### 1 自然環境の保全

[アンケート実施前]

#### 市民の森「二貫寺の森」をいかした環境教育と余暇活動の促進

##### ○アンケートの結果分析

- ・「保全活動」の割合が一番高い
- ・掲げている文言は「環境教育と余暇活動の促進」であるが、3位、4位に位置している。

##### ○「地域活性化の方向性」との整合に係る協議内容

- ・「環境教育と余暇活動の促進」は「保全」の次の段階。余暇活動まで行く前に、保全活動として何かやることがあるのではないか。
- ・アンケート結果を踏まえると「保全活動の促進」の方が近いと思われる。
- ・環境教育や余暇活動の促進の前に、草刈や沿道整備（保全活動）をしないと、教育や余暇は難しい。「保全」はあった方がよい。
- ・「市民の森『二貫寺の森』の保全と、それをいかした環境教育と余暇活動の促進」でどうか。「保全」を足すだけでよい。
- ・現状を「保全する」よりは、藪を「再生する」という言葉の方が合う。
- ・藪みたいな森に少し手を加えて、「再生」ではなく、「使いやすいようにしていく」という意味の言葉にする。
- ・現状「藪」であり、当初は大変綺麗な森だったが、「保全」は「今を保つ」という意味だとすれば、藪を保っても仕方ない。
- ・地域住民が行きやすい、雰囲気の良い森を目指す意味の、環境整備を必要とした言葉を取り入れたい。

[アンケート結果反映後修正案]

#### 市民の森「二貫寺の森」を育み、「二貫寺の森」から学ぶ活動の促進

言葉の順列を協議内容から整理すると下記のとおりとなり、当初、「保全」の区分の中で、「活用」まで飛躍していたこととなります。これを、保全・再生→利便性の向上まで、森を改めて「成長させる」意味で「育む」と表現しました。また、人が森を育むこととし、人が自然環境について学ぶことに対して、「『二貫寺の森』を育み、『二貫寺の森』から学ぶ」としました。

保全 [環境整備＝再生（藪を美しい森にする）]

↓

利便性の向上（使いやすく整備する）

↓

活用（環境教育と余暇活動を促進する）

(参考) …自然再生推進法第2条第1項 逐条解説

## 2 景観の保全

[アンケート実施前]

### 農村地域の美しい景観の維持と調和のとれた地域づくり

#### ○アンケートの結果分析

・「ヒマワリの植栽や白鳥の飛来地をいかしたビュースポットづくり」の割合が一番高い。

#### ○「地域活性化の方向性」との整合に係る協議内容

・ヒマワリの植栽、白鳥の飛来地、はさ木保全など、諏訪地区の目玉となるような具体的なワードを入れてはどうか。文章が長くない程度に。

・「地域の宝」という言葉を入れてはどうか。地域の宝が3つ諏訪にあるので、地域の宝を保全という言葉が入ってもよい。

・具体名称を入れた案を作成する。

[アンケート結果反映後修正案]

### ヒマワリ、白鳥、はさ木…農村地域の景観と調和した美しい諏訪の里づくり

アンケート結果の上位にある諏訪地域の特徴を具体的に表現したいという思いを前面に出し、それが「諏訪」であることをわかりやすく表すため、「地域」を「諏訪の里」としました。また、「維持」は、「づくり」の中で網羅されると考え、削除しました。

(参考) …地域の宝（諏訪区）

○米岡のはさ木道    ○米岡和みの八本桜    ○芳澤記念公園、芳澤記念館

## 3 歴史文化の顕彰

### 地域の伝統や先人「芳澤謙吉」翁の顕彰と継承

#### ○アンケートの結果分析

・取組についてはどの項目も同程度の割合となった

#### ○「地域活性化の方向性」との整合に係る協議内容

・修正無し

## 4 福祉の充実

[アンケート実施前]

### 子どもから高齢者まで安心して暮らせる支え合いの機運の醸成

- アンケートの結果分析
  - ・取組についてはどの項目も同程度の割合となった
  - ・「今のままでよい」の割合が、他の設問と比較して高い（他の設問 17%程度に対し、23.7%）
- 「地域活性化の方向性」との整合に係る協議内容
  - ・「機運の醸成」という言葉が難しい
  - ・「安心して暮らせる支え合いの強化」というニュアンスの言葉に変えてはどうか

[アンケート結果反映後修正案]

### 子どもから高齢者まで安心して暮らせる「支え合う」風土の継承

アンケートの選択肢にある「高齢者福祉施設とのつながり」や「高齢者の買い物ツアー」は現在も諏訪地区で実施している事業です。この他の設問も含め、アンケートの作成時に、当初「どのような活動が必要か」としていたものを「優先的に実施すべき活動」と変えています。

また、令和3年の豪雪時には近隣のひとり暮らし高齢者に声を掛け合うなど、助け合いの心がある地域ですので、新たに作り出すものでなく、地域の良き風土を次の世代に継承していくことが重要と考えます。

(参考)

- ・「機運」= 時期を得て、事を起こすのに適した条件が整ったととらえられる状況
- ・「醸成」= 事を熟させ、情勢を作り出すこと
- ・「風土」= その土地の気候、地形、歴史的背景、生活様式、文化など、生まれ育つ環境や社会的な影響により形成されるもの
- ・「継承」= 先代や前任者の地位・身分・財産などをそっくりそのまま受け継ぐこと

## 5 防災力の向上

[アンケート実施前]

### 安心な暮らしのための地域防災力の向上

#### ○アンケートの結果分析

- ・地域情報の収集・周知（避難所、ハザードマップなど）の割合が一番高く、半数以上が選択している。
- ・その他記載欄にあるとおり、比較的災害が少ない地区であるため、個々の地域の防災情報（避難所、ハザードマップなど）への関心が薄らいでいると思われる。

#### ○「地域活性化の方向性」との整合に係る協議内容

- ・1/3以上が「自主防災活動の強化」を挙げているが、地域で防災訓練を実施した方がよいと感じた。
- ・半数以上が「地域情報の収集・周知」を挙げているが、市から各世帯にハザードマップが配布されていても、あまり見ていないことが伺える。
- ・文面の「の」を減らした方がよい

[アンケート結果反映後修正案]

### 安心して暮らすための地域防災力の向上

地域住民それぞれの情報収集から地域での防災訓練などの取組まで意見がありましたが、「地域防災力」とは、個々の防災活動（情報収集含む）から地域での取組や、地域と公共機関との連携協力によって確保される防災体制や能力までを総称するため、文言修正は必要ないと考えます。

（参考） …「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」第2条から抜粋

- ・「地域防災力」=住民一人一人が自ら行う防災活動、自主防災組織、消防団、水防団その他の地域における多様な主体が行う防災活動並びに地方公共団体、国及びその他の公共機関が行う防災活動の適切な役割分担及び相互の連携協力によって確保される地域における総合的な防災の体制及びその能力

## 6 人口減少対策

[アンケート実施前]

### 地域のつながりをいかした移住・定住の促進

#### ○アンケートの結果分析

・移住・定住促進（魅力の発信）の割合が一番高く、次いで、1/3 以上が子育て環境づくり（安全見守りなど）を挙げている

#### ○「地域活性化の方向性」との整合に係る協議内容

- ・子育て環境づくりのポイントが高かったが、子どもに関するキーワードが入っていない
- ・移住・定住の促進には、「つながり」より「地域の魅力」である
- ・「地域のつながり」というキーワードが漠然としている
- ・移住・定住の促進だけが人口減少対策ではないと思う
- ・健康維持活動、健康な人を増やすという意味で足してはどうか
- ・健康維持については地域として自信を持ってよい
- ・人口減少対策として、増やす（移住、出産）、維持する（定住、健康維持…長寿）という整理で健康維持を選択肢の一つとした。このニュアンスを取り入れることとする。

[アンケート結果反映後修正案]

### みんなで取り組む、住みたい・住み続けたいすこやかな諏訪の里づくり

下記3点に分けて文言を整理しました。

#### ○子育て環境、地域のつながり

「地域みんなで協力して地域の子どもを育てる」、「地域で健康維持活動に取り組み、地域みんなの健康を維持する」、「地域みんなで移住しやすい環境を整える」などの意味をまとめて「みんなで取り組む」と表現しました。

#### ○健康維持

心身ともに健康であることが高齢者の地域づくり活動の参画を促し、若い世代の負担軽減にもつながることから人口減少対策に寄与するものであり、これを「すこやか」と表現しました。

#### ○移住・定住

人口減少対策の一つであり、そのものが目的ではないため、また、全体テーマとの整合を図るため「住みたい・住み続けたい」と表現しました。

(参考)

「すこやか」= 特に病気・故障がなく、健康である様子（広義では、精神の健全をも指す）

## 「地域活性化の方向性」全体テーマ

[アンケート実施前]

諏訪区に立地する「二貫寺の森」や、田園地帯ならではの景観と親しみやすい人柄をいかして、地域内外の人が住みたい・住み続けたいと思えるまちを目指します。

### ○構成要素

分野	修正前	修正案
自然環境の保全	市民の森「二貫寺の森」をいかした環境教育と余暇活動の促進	市民の森「二貫寺の森」を育み、「二貫寺の森」から学ぶ活動の促進
景観の保全	農村地域の美しい景観の維持と調和のとれた地域づくり	ヒマワリ、白鳥、はさ木…農村地域の景観と調和した美しい諏訪の里づくり
歴史文化の継承	地域の伝統や先人「芳澤謙吉」翁の顕彰と継承	地域の伝統や先人「芳澤謙吉」翁の顕彰と継承（修正無し）
福祉の充実	子どもから高齢者まで安心して暮らせる支え合いの機運の醸成	子どもから高齢者まで安心して暮らせる「支え合う」風土の継承
防災力の向上	安心な暮らしのための地域防災力の向上	安心して暮らすための地域防災力の向上
人口減少対策	地域のつながりをいかした移住・定住の促進	みんなで取り組む、住みたい・住み続けたいすこやかな諏訪の里づくり

### ○アンケートの結果分析

- ・自由意見記載割合 18.4%
- ・「諏訪区における地域活性化の方向性」の文言に関する直接的な意見の記載は無いが、諏訪区のことを日頃から考えている方々の想いが正直に記載されている

### ○「地域活性化の方向性（全体テーマ）」との整合に係る協議内容

- ・
- ・
- ・

[構成要素へのアンケート結果反映後修正案]

「二貫寺の森」や、田園地帯ならではの景観と風土を根ざして、人々が住みたい・住み続けたいと思える美しい「諏訪の里」を育てていきます。

参考語釈：新明解国語辞典（三省堂）